

講義コード	11C0115304	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員	藤岡 明房	開講期	第1期																
科目名	ミクロ経済学基礎D					藤岡 明房		第1期																	
履修前条件						備考																			
授業の目的	この講義では経済学の面白さを知ってもらうことと、社会科学としての厳密性を理解してもらうこと目指している。経済学の考え方をわずかでも身につければ、世の中の見方を大きく変えることができるようになる。これこそが経済学を学ぶことの喜びである。一方、経済学はミクロ経済学、マクロ経済学という2つの側面から経済問題をとらえている。ミクロ経済学では、人間や企業の合理的な判断の結果どのような行動をとるようになるのかを分析している。マクロ経済学では、国全体としての家計や企業の行動を把握することによって、ミクロ経済学では見えていなかった経済システムの整合性を明らかにしている。これらを学ぶことによって、学問としての経済学の意味を分かってもらいたい。																								
到達目標	この科目は、経済学の基礎知識を習得することができる。2年次以降の経済学を理解するためには、経済理論における専門用語の正確な理解は必須である。これらが分らないと言語の異なる人と会話しているようなものである。基礎的な専門用語および経済学の基礎的な分析概念の理解がこの授業の目標である。																								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	授業外学修時間は、最低でも60時間以上必要である。経済理論であるから、授業だけで理解するのは困難である。特に数字的な理解を必要とする箇所が多いので、苦手な人はさらに多くの学修時間を必要とする。授業外学修のために、練習問題を用意する予定である。																								
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>【第1回】 講義の概要</td> <td>【第9回】 第4章 市場における需要と供給の作用2</td> </tr> <tr> <td>【第2回】 第1章 経済学経済学の十大原理1</td> <td>【第10回】 第5章 需要、供給、および政府の政策1</td> </tr> <tr> <td>【第3回】 第1章 経済学経済学の十大原理2</td> <td>【第11回】 第5章 需要、供給、および政府の政策2</td> </tr> <tr> <td>【第4回】 第2章 経済学者らしく考える1</td> <td>【第12回】 第6章 消費者、生産者、市場の効率性1</td> </tr> <tr> <td>【第5回】 第2章 経済学者らしく考える2</td> <td>【第13回】 第6章 消費者、生産者、市場の効率性2</td> </tr> <tr> <td>【第6回】 第3章 相互依存と貿易からの利益1</td> <td>【第14回】 第7章 外部性1</td> </tr> <tr> <td>【第7回】 第3章 相互依存と貿易からの利益2</td> <td>【第15回】 第7章 外部性2</td> </tr> <tr> <td>【第8回】 第4章 市場における需要と供給の作用1</td> <td></td> </tr> </table>									【第1回】 講義の概要	【第9回】 第4章 市場における需要と供給の作用2	【第2回】 第1章 経済学経済学の十大原理1	【第10回】 第5章 需要、供給、および政府の政策1	【第3回】 第1章 経済学経済学の十大原理2	【第11回】 第5章 需要、供給、および政府の政策2	【第4回】 第2章 経済学者らしく考える1	【第12回】 第6章 消費者、生産者、市場の効率性1	【第5回】 第2章 経済学者らしく考える2	【第13回】 第6章 消費者、生産者、市場の効率性2	【第6回】 第3章 相互依存と貿易からの利益1	【第14回】 第7章 外部性1	【第7回】 第3章 相互依存と貿易からの利益2	【第15回】 第7章 外部性2	【第8回】 第4章 市場における需要と供給の作用1	
【第1回】 講義の概要	【第9回】 第4章 市場における需要と供給の作用2																								
【第2回】 第1章 経済学経済学の十大原理1	【第10回】 第5章 需要、供給、および政府の政策1																								
【第3回】 第1章 経済学経済学の十大原理2	【第11回】 第5章 需要、供給、および政府の政策2																								
【第4回】 第2章 経済学者らしく考える1	【第12回】 第6章 消費者、生産者、市場の効率性1																								
【第5回】 第2章 経済学者らしく考える2	【第13回】 第6章 消費者、生産者、市場の効率性2																								
【第6回】 第3章 相互依存と貿易からの利益1	【第14回】 第7章 外部性1																								
【第7回】 第3章 相互依存と貿易からの利益2	【第15回】 第7章 外部性2																								
【第8回】 第4章 市場における需要と供給の作用1																									
成績評価の方法	第1期末の試験の成績により評価する。																								
フィードバックの内容																									
教科書	『マンキュー入門経済学（第2版）』N. グレゴリー・マンキュー（東洋経済新報社）2014年																								
指定図書	『スティグリッツ入門経済学第4版』ジョセフ・E・スティグリッツ カール・E・ウォルシュ（東洋経済新報社）2012年																								
参考書	『スティグリッツミクロ経済学第4版』ジョセフ・E・スティグリッツ カール・E・ウォルシュ（東洋経済新報社）2013年、 『経済学・入門第3版』塩澤修平（有斐閣）2013年、『ミクロ経済学・入門：ビジネスと政策を読みとく』柳川隆・町野和夫・吉野一郎（有斐閣）2008年																								
教員からのお知らせ	授業用の教材・資料および連絡事項を、学内コンピュータネットワークの共有ストレージを利用して掲示する。授業の前には、共有ストレージ（共有フォルダ）を見ること。																								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワーにて受付ける。																								
その他																									